

「卵母細胞特異的な分裂装置」

大倉洋之

英国エジンバラ大学

ウェルカム細胞生物学研究所、教授

世話人：登田 隆特任教授

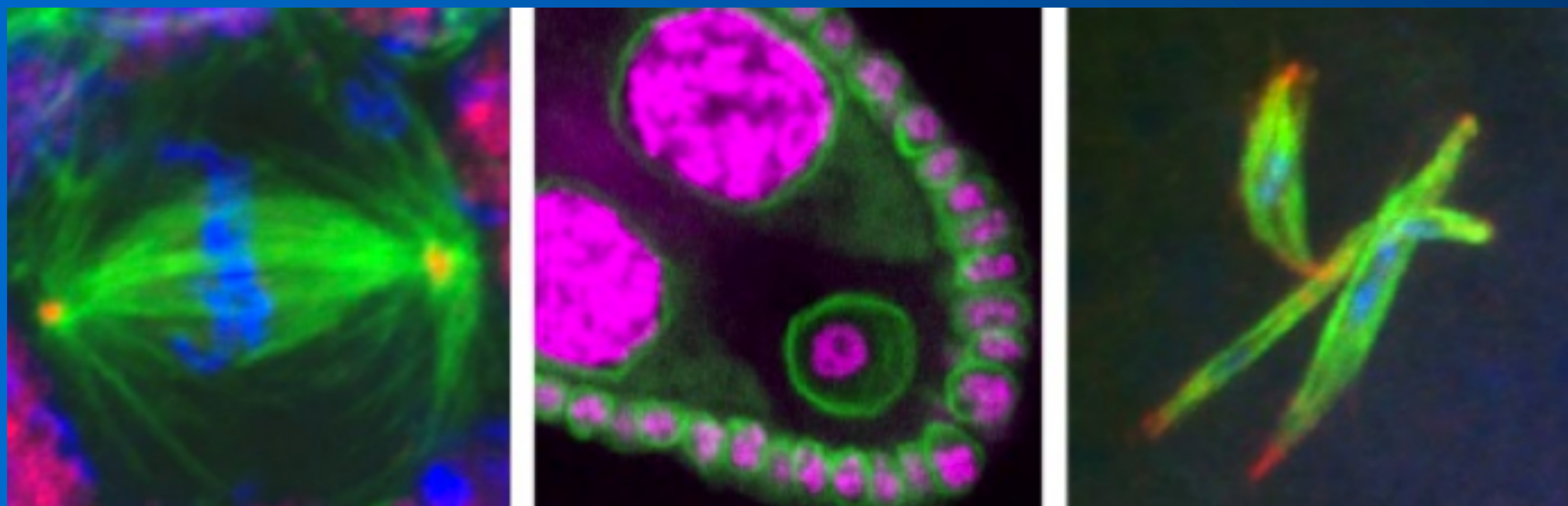
大学院先端物質科学研究科

分子生命機能科学専攻

本セミナーは5研究科共同セミナーです。

《概要》

正確な染色体分配は生命の基本であるが、ヒトの卵母減数分裂でのエラーの頻度は高く、10-30%にもものぼる。近年の寿命、健康の向上、出産年齢の遅れとは無関係に、卵母細胞の老化は進み、染色体分配のエラーの頻度が年齢とともに飛躍的に増加する。分配のエラーは異数体卵を生み、不妊、流産、ダウン症などの主な原因である。しかし、卵母減数分裂での染色体分配の分子機構、エラーの原因はよく解明されていない。卵母減数分裂は体細胞分裂とは異なる点があるが、卵母減数分裂特異的な分子機構は、存在ですら、よく認識されていない。我々は、ショウジョウバエをモデルとし、卵母細胞特異的な分子機構を見つけ出し、その解明に力を注いでいる。本セミナーでは、紡錘体形成、維持、染色体構成に焦点をあて、我々の最近の知見を紹介する。



開催日時：平成 29 年 2 月 3 日(金) 14:00-15:00

会場：広島大学先端科学総合研究棟 3F 302S会議室

お問い合わせ先

○広島大学大学院先端物質科学研究科分子生命機能科学専攻

・広島大学健康長寿研究拠点：河本 正次（代表），事務担当：松本

連絡先：E-mail tomako@hiroshima-u.ac.jp TEL 082-424-7867